学校番号	3032B

令和８年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	(学)英語構文演習 A	1	３年前期	AXEL　英語総合問題演習 3rd edition（桐原書店） Scramble Basic（旺文社）

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

問題集を用いて入試に対応する構文演習を行います。英語の構造に関する興味と感心、また授業に対する努力が必要です。

２ 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・基本的な語彙と表現を使い、決まった表現で話された事柄についての概要を理解することができる。 ・授業内の指示に対して適切な反応ができる。 ・長い質問でも適切に聞きとろうとする。	・基本的な語彙と表現を使用した日常生活の身近な英語の意味を理解することができる。 ・内容の要点を示す語句や文を意識して読むことができる。 ・２００語程度の英文の概要を理解しようとする。	・基本的な語彙と表現に関して、日常生活に用いられる身近な単語に加えてよくつかわれる単語を発音できる。 ・簡単なやり取りに適切に対応ができる。 ・多様な事柄についてやり取りの中で簡単な説明をしようとする。	・基本的な語彙と表現を使い、日常生活や身近な話題に関するスピーチができる。 ・簡単な英語を使って自分の興味・関心を表現できる。 ・多様な事柄について状況に応じた簡単な意見や印象を話そうとする。	・基本的な語彙と表現に関して、日常生活に用いられる単語を正確に書くことができ、自らの書く文章に使用することができる。 ・多様な事柄について短い文章で表現できる。 ・多様な事柄について短い文章を書こうとする。

３ 評価の観点及びその趣旨

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	音声、句読法、文法事項、語彙、慣用表現など、英語の決まりや特徴を理解習得して、これまでの学習成果を基本として、復讐を交えつつ、実際の場面に即して適切に運用する。	日常的な話題や社会的な話題に関して、与えられた情報・事柄の要点や話し手の意図を理解し、自分の考えや感想を、英語で適切に表現することができる。	日常的な話題や社会的な話題に関して、文化的背景を理解し、自分の意見や感想を交え、事柄の要点を理解し、自ら主体的に発話したり、対話したり、文章を作成することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
前期	Lesson10	聞くこと	a: 英語の発音の特徴を聞き取ることができる。 b: 英語の音声から必要な情報を聞き取ることができる。 c: 英語の音声から必要な情報を聞き取ろうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 本文の語彙、文法事項を理解できる。 b: 本文の内容について理解できる。 c: 本文の内容について理解しようとしている。	テスト
		話すこと（やり取り）	a: 自分の意見を伝えるための表現、語彙を理解している。 b: 本文の内容について自分の意見を英語で伝えられる。 c: 本文の内容について自分の意見を英語で伝えようとしている	スピーキングテスト・プレゼンテーション
		書くこと	a: 単元で学ぶ文法事項を理解できる。 b: 単元で学ぶ文法事項を応用し、英文を作ることができる。 c: 単元で学ぶ文法事項を応用し、英文を作ろうとしている。	テスト
	中間考査			
	Lesson11,12	聞くこと	a: 英語の発音の特徴を聞き取ることができる。 b: 英語の音声から必要な情報を聞き取ることができる。 c: 英語の音声から必要な情報を聞き取ろうとしている。	リスニングテスト
		読むこと	a: 本文の語彙、文法事項を理解できる。 b: 本文の内容について理解できる。 c: 本文の内容について理解しようとしている。	テスト
		話すこと（やり取り）	a: 自分の意見を伝えるための表現、語彙を理解している。 b: 本文の内容について自分の意見を英語で伝えられる。 c: 本文の内容について自分の意見を英語で伝えようとしている	スピーキングテスト・プレゼンテーション
		書くこと	a: 単元で学ぶ文法事項を理解できる。 b: 単元で学ぶ文法事項を応用し、英文を作ることができる。 c: 単元で学ぶ文法事項を応用し、英文を作ろうとしている。	テスト
	期末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度